

# 椿森だより

発行日  
令和2年12月7日

独立行政法人国立病院機構  
千葉医療センター附属千葉看護学校  
椿森委員会 広報担当

## 椿森祭 & 看護の日 合同開催

今年度、コロナ禍において私たちにないがでできるか試行錯誤し、マスク・フェイスシールドの着用や2日間にわたり分散登校するなどの感染予防対策を取りながら、看護の日と椿森祭の合同開催となりました。

テーマ **つながるつなげる、想いをひとつに**

### テーマ選定の理由

現在の学びの中で得られた自己の看護観、看護への思いを学年ごとに共有する。昨今の突然起こる災害や新型コロナなどの感染症の蔓延という時代に対峙した私たちが新しい看護を追求していく当事者だからこそ、現在持つ看護観や看護への思いを未来へ繋げていきたい。



## 活動内容

千葉医療センター附属千葉看護学校では毎年5月に看護の日活動、9月に椿森祭(文化祭)を開催しています。看護の日はナイチンゲールの誕生日にちなみ、各地で看護の活動が開催されます。例年、千葉看護学校でもボランティア活動などをしていましたが、今年は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により活動が延期となっていました。また、椿森祭においても、例年手浴や妊婦体験、一次救命処置など看護で得た学びを、来校していただいた方に楽しみながら体験していただけるよう工夫を凝らし開催していました。今年度は「つながるつなげる、想いをひとつに」をテーマに今持つ看護の学びや思いを学生間で共有し深めました。専門看護師の活動を記録したDVDを視聴後グループワークを行い、その学びを模造紙にまとめあげ、多くの作品の中から学内でコンテストを行い、最優秀作と優秀作を選出しました。今後の活動について、地域の方にも知っていただけたらと思い、「椿森だより」を発行するに至りました。千葉看護学校の活動について、ご覧いただけたら幸いです。

### 私たちの考える看護とは何か？

知識と技術

患者に寄り添う姿勢

情報収集力や観察力

患者さんらしく生きる援助

看護に必要なものって何だろう？

じゃあ...どういう看護をしたい？

これらを実習や今後には生かしていこう!!

患者さんの笑顔に繋がる、役立つ看護

個別性を意識し、一人ひとりに向き合う看護

家族も含めて、心に寄り添える看護

### 私たちの考える看護とは何か？

看護師までの道のり

看護現場に必要となる知識や技術の習得

evidence-based nursing

基礎実習

病態生理の勉強

疾病に対する看護の学習

統合技術実習

初実習

解剖生理の勉強

看護援助技術

領域別実習

統合実習

国家試験

道

上学生

今の思い

入学前は患者に寄り添うだけだと思ってたけど、入学後は知識や技術を身につけることでその患者さんの病状について見直しや時々に合わせて必要なことを考える

日常生活での援助をすることで回復を少しでも早くできることがあるということを知った。

看護師は、日々変わる状況の中で対応していかなければならぬ。看護とは医学的根拠に基づいて行われ、看護師は患者中心の援助の手助けをする

下学生

今の思い

知識だけでなく患者さんへの理解や身近な人の死など目の前に助けてあげたいという気持ちや病状が回復しないという事実を最も理解したい。例えば心臓病を患者さんが家族から理解できるように看護士として、適切なサポートができるようにしたい。

患者さんの病状の経過へのリスクマネジメントだけでなく、患者さんの気持ちや希望なども前向きに可能性を探っていく看護士

今の思い

看護師と同じ目標を持ってこの大学へ入ったけれど、看護士としての目標は、患者さんへの理解や寄り添うこと、患者さんの病状をしっかりと理解し、患者さん自身が納得して治療を受けられるようにしたい。また、患者さんへの理解や寄り添うことが、看護師としての大切な役割だと思っています。

ペットボトルキャップの回収活動を行い、17,237個が集まりました。ワクチン約20本分として世界の子どもたちとの橋渡しをしているNPO法人に送ることができました。